

# 社会学系コンソーシアム通信 第14号

2012年8月

社会学系コンソーシアム通信第14号をお届けいたします。近々行われる学会大会やその他イベントなど各学術団体の活動を広く他の学術団体と共有し、相互のコミュニケーションや交流を広げようとする企画の一環です。

本『コンソーシアム通信』は、(1)事務局にお寄せ頂いた参加学協会及び関連学術団体のイベント詳細、(2)参加学協会の皆様のホームページ上で公表されている学会大会や研究大会のイベント情報、(3)その他事務局からのお知らせで構成されています。

今後も、年3回(1月、5月、8月)のペースで、本通信を配信する予定ですので、シンポジウム、学会大会、国際イベントなど、情報提供の場として、皆様に積極的にご利用いただければ幸いです。

## 1. 参加学協会イベント詳細

### ★日本労働社会学会大会のご案内

第24回大会

日程：11月16日(金)－18日(日)

会場：聖心女子大学

スケジュール(予定)：

16日…工場見学

17日…自由論題報告、総会、懇親会

18日…シンポジウム

\*9月1日(土)に、大会シンポジウムに向けたプレシンポジウムを予定しています。

詳細は日本労働社会学会HP (<http://www.jals.jp/>) をご参照ください。

### ☆ロバート・ベラー博士講演会・シンポジウム開催のご案内

#### ■趣旨

日本聖公会ウィリアムズ主教記念基金および立教大学社会学部は、『徳川時代の宗教』(1957年)、『心の習慣』(1984年)、『人類進化における宗教』(2011年)などの業績で知られる宗教社会学者ロバート・N・ベラー博士(カリフォルニア大学バークリー校名誉教授)を招聘し、3回にわたって講演とシンポジウムを開催する。第1回講演は「グローバルな市民社会と市民宗教の可能性」、第2回講演は「人類進化における宗教をめぐって」をテーマにベラー博士にご講演いただき、ファシリテーターがこれに対してコメントし、フロアとの対話を開いていく。

この2回の講演を受けて開催されるシンポジウム「グローバル時代における宗教と市民社会—日本とアメリカの対話」では、「日本」と「アメリカ」をひとつの焦点にして、ベラー博士から問題提起をいただいたあと、パネリストとの対話を行う。グローバルな市民社会・市民宗教にとって「日本」と「アメリカ」はどのような貢献をなすのか。文明史的な視野に立って考えるとき、「日本」と「アメリカ」はこれから

どこに行こうとしているのか。長年「日本」を注視しつづけたベラー博士の日本へのメッセージを伺うとともに、アメリカ学、政治学、社会学、宗教学などさまざまな文脈から議論を展開していきたい。

#### ■第1回講演

日時・場所：9月29日（土）15:00～17:00 立教大学8号館8101教室

タイトル：The Possibility of Global Civil Society and Civil Religion

「グローバルな市民社会と市民宗教の可能性」

ファシリテーター：宮島喬（お茶の水女子大学名誉教授）、松村圭一郎（立教大学社会学部）

#### ■第2回講演

日時・場所：10月2日（火）18:30～20:30 立教大学8号館8101教室

タイトル：On Religion in Human Evolution

「人類進化における宗教をめぐって」

ファシリテーター：島藺進（東京大学）、奥村隆（立教大学社会学部）

#### ■シンポジウム

日時・場所：10月6日（土）14:00～17:00 立教大学太刀川記念館3階多目的ホール

タイトル：Religion and Civil Society in the Global Age: Voices from Japan and the US

「グローバル時代における宗教と市民社会——日本とアメリカの対話」

パネリスト：古矢旬（北海商科大学）、大澤真幸、ミラ・ゾンターク（立教大学文学部キリスト教学科）

司会：生井英考（立教大学社会学部）、奥村隆（立教大学社会学部）

\*上記シンポジウムのみ事前申し込み必要（立教大学社会学部ホームページにて9月1日より受付）

<http://www.rikkyo.ac.jp/shakai/newstopi/120808.html>

\*いずれも同時通訳（日英）つき

主催：立教大学、立教大学社会学部、日本聖公会ウィリアムズ主教記念基金

共催：立教大学アメリカ研究所（シンポジウムのみ）、関東社会学会

後援：日本社会学会

## 2. 関連学術団体のイベント詳細

### ☆日本学術会議公開シンポジウムのご案内

#### ■公開シンポジウム「高齢社会論の最前線」

日時：9月29日（土）13:30～17:30

会場：日本学術会議講堂

プログラム：

大沢真里（日本学術会議第1部副部長、東京大学教授） 問題提起

岩本康志（日本学術会議第1部会員、東京大学教授）

「少子高齢化社会における社会保障の財源問題」

落合恵美子（日本学術会議第1部会員、京都大学教授）

「高齢者のケアと家族—アジア的コンテクストで考える」

樋口美雄（日本学術会議第1部会員、慶應義塾大学教授）

「高齢化社会における雇用問題」

大島伸一（日本学術会議第2部会員、独立行政法人国立長寿医療研究センター総長）

「超高齢社会と医療」

\*ご参加頂くには事前の申し込みが必要となります。詳細は以下の案内をご参照ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/152-s-1-2.pdf>

#### ■公開シンポジウム「雇用崩壊とジェンダー」

日時：10月13日（土）13:00～17:00

会場：日本学術会議講堂

プログラム：

司 会 岡野八代（日本学術会議連携会員、同志社大学大学院教授）

後藤弘子（日本学術会議会員、千葉大学大学院教授）

開会挨拶 上野千鶴子（複合領域ジェンダー分科会委員長、日本学術会議会員）

報 告

1) 「非正規雇用問題・パート派遣について」 中野麻美（弁護士）

2) 「男女賃金格差について」 竹信三恵子（和光大学教授）

3) 「専門職の非正規問題—女性医師の場合」

桃井眞里子（日本学術会議会員、自治医科大学小児科学主任教授）

4) 「国際比較の観点から」 田宮遊子（神戸学院大学准教授）

コメンテーター 大沢真理（日本学術会議会員、東京大学教授）

浅倉むつ子（日本学術会議会員、早稲田大学大学院教授）

討 論

閉会挨拶 井野瀬久美恵（日本学術会議会員、甲南大学教授）

\*このシンポジウムは、「当日先着順 入場無料」となっております。詳細は以下の案内をご参照ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/154-s-1-3.pdf>

### 3. 参加学協会イベントカレンダー

8月

30-31日 数理社会学会 第54回大会（関東学院大学 KGU 関内メディアセンター）

<http://www.jams-sociology.org/?p=450>

9月

1-2日 日本解放社会学会 第28回大会（松山大学）

<http://sociology.r1.shudo-u.ac.jp/liberty/index.html>

1-2 日 日本社会学理論学会 第 7 回大会 (立命館大学)

<http://www.sst-j.com/html/conference.html>

8-9 日 日本都市社会学会 第 30 回大会 (立教大学)

<http://urbansocio.sakura.ne.jp/taikai.html>

14-16 日 社会情報学会 2012 年大会 (群馬大学荒牧キャンパス)

<http://www.ssi.or.jp/taikai/2012/>

16-17 日 日本家族社会学会 第 22 回大会 (お茶の水女子大学)

<http://www.wdc-jp.biz/jsfs/conf2012/>

29-30 日 日本社会病理学会 第 28 回大会 (大阪市立大学)

<http://socproblem.sakura.ne.jp/>

#### 10 月

6 日 東北社会学研究会 2012 年度研究大会 (東北大学)

<http://www.sal.tohoku.ac.jp/soc/cgi-bin/wiki.cgi>

20-21 日 日本社会福祉学会 第 60 回秋季大会 (関西学院大学)

<http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/60/>

26-28 日 日本村落研究学会 第 60 回大会 (智頭町旧山郷小学校)

<http://rural-studies.jp/sonken7.html>

27 日 日本マス・コミュニケーション学会 2012 年度秋季研究発表会 (法政大学多摩キャンパス)

<http://www.jmscom.org/>

#### 11 月

3-4 日 日本社会学会 第 85 回大会 (札幌学院大学)

<http://www.gakkai.ne.jp/jss/2012/11/03193355.php>

16-18 日 日本労働社会学会 第 24 回大会 (聖心女子大学)

<http://www.jals.jp/>

17 日 日仏社会学会 2012 年度大会 (西南学院大学)

<http://www.socio-nichifutsu.com/news35.pdf>

2013年

3月

18-19日 日本スポーツ社会学会 第22回大会（福山大学）

<http://www.jsss.jp/>

5月

11-12日 地域社会学会 第38回大会（立命館大学）

<http://jarcs.sakura.ne.jp/main/meetings/index.html>

9月

21-22日 日本社会福祉学会 第61回秋季大会（北星学園大学）

<http://www.jssw.jp/event/index.html>

#### 4. コンソーシアム事務局からのお知らせ

##### （1）「世界へのメッセージ」の進捗状況

前回の通信でお伝えしましたように、社会学系コンソーシアムは、2014年に横浜で行われる世界社会学会議ISAに向けて、日本社会学会との共同で、「世界へのメッセージ Messages to the World Sociologists from Japanese Scholars」を作成するという事業を進めています。日本の社会学系学問を世界に示すことを趣旨とし、コンソーシアム参加学協会それぞれが歴史や研究動向、3.11以降の課題を踏まえて執筆したメッセージを一冊にまとめて配布する予定です。

昨年より事業を開始し本年3月に行われた「世界へのメッセージ編集委員会」にてその詳細が決定しました。現在参加学協会のみなさまに原稿執筆のご依頼をし、作成して頂いている段階です。参加学協会の皆様方のご協力よろしくお願いたします。

世界へのメッセージ編集委員会

委員長 庄司興吉

副委員長 高坂健次

副委員長 上野谷加代子

##### （2）三組織合同事業のお知らせ

社会学系コンソーシアムは、震災再建分科会、社会学コンソーシアム分科会と協働で事業を推進することになりました。以下3つの事業が進められています。

- 1) 震災と復興再建に関する諸事業のデータベース作成  
・震災再建分科会が主導し、他2組織が協働します。

- ・本事業の目的は、2011年3月11日に起こった震災とその復興に関連する研究及び支援活動の総体を俯瞰するためのデータベースを作成することにあります。データベースに含まれるデータはいわゆる「メタ・データ」であり、支援活動の研究報告・研究活動の成果物などは含まれません。

2) 震災復興に関する研究を掲載する「プラットフォーム」の設置

- ・社会学コンソーシアム分科会が主導し、他2組織が協働します。
- ・本事業は、3.11の震災と復興に関連する研究論文・報告書に手軽にアクセスできるような空間をWeb上に設置することを目的としています。

3) 3.11に関するシンポジウムの合同開催

\*次項目の(3)をご参照ください。

### (3) 2012年度シンポジウム開催のお知らせ

社会学系コンソーシアムは2013年1月に、社会学コンソーシアム分科会、震災再建分科会と協働でシンポジウムを開催いたします。今回のテーマは「東日本大震災とマイノリティ」です。日時及びプログラムの詳細につきましては、改めてご連絡いたします。なお、同日に評議員会および理事会も開催いたしますので、ご予定くださいますようお願いいたします。

### (4) 評議員変更に伴う、各参加学協会の事務局へのお願い

社会学系コンソーシアムは参加学協会の皆様方からのご協力により成り立っています。本コンソーシアムが参加学協会の間をつなぐネットワークとしての機能を十分に果たすためには、各学協会の評議員の先生方と迅速かつ確実に連絡を取ることができる体制が必要となってきます。ご足労おかけしますが、本コンソーシアム評議員となる先生に変更がある際には、変更日と後任者の情報(氏名、所属、メールアドレス)を社会学系コンソーシアム事務局(socconsortium@socconso.com)までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

事務局・問い合わせ

『社会学系コンソーシアム通信』やコンソーシアムのホームページは、参加学協会の皆様の情報交換の場として積極的にご活用頂けましたら幸いです。掲載したい情報やご質問など、お気軽に事務局までお寄せ下さい。お待ちしております。

\*事務局（慶應義塾大学内）

有末賢・石田幸生・八木良広

E-mail : [socconsortium@socconso.com](mailto:socconsortium@socconso.com)

Website : <http://www.socconso.com/>

\*財務担当事務局（首都大学東京内）

玉野和志

E-mail : [tamano@k.email.ne.jp](mailto:tamano@k.email.ne.jp)

\*ニューズレター・社会学系コンソーシアム通信編集担当

橋本和孝・渡辺秀樹・八木良広